

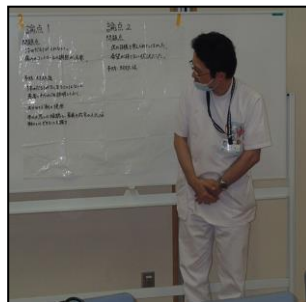
## 平成 27 年度第 2 回緩和ケア症例検討会を開催しました

平成 27 年 9 月 9 日（水）18：30 より当院講堂にて、緩和ケア症例検討会が行われました。参加者は 37 名（院内 26 名 院外 11 名）でした。

『ご本人、ご家族ともに死を受容され、在宅での看取りを選択された 58 歳 男性 手術不能進行胃癌、多発転移性肝癌』の症例を振り返り

- ① 痛みが取れても、身体がスッキリしなくてなにかやろうという気になれない。
- ② 苦痛はないが、生きている意味も感じない。

という 2 つの問題点に対して、6 グループに分かれて、ワークショップ形式でディスカッションを行いました。



「緩和ケア」そのものに対する説明の必要性や、痛み、苦痛の度合いの把握、レスキューの使い方、理解度、説明不足はないか、薬の種類、量の調整の必要性、嘔気、倦怠感、腹満苦などの身体症状、ステロイド投与、NSAIDs の検討、薬剤以外の方法の検討、ライフレビュー、家族を交えながら絵や写真を見たりして思い出話をして生きてきた意味を再確認できる機会をつくり、大事な存在である事を感じてもらえるよう関わるなど、一人の患者に対して出来る事をそれぞれの立場で意見を出し合い、学びを共有しました。今回の学びを次の症例にすぐ活かしていけるような有意義な内容の学習会でした。

次回は 2 月 3 日に予定しています。



### 参加者の感想

- ・他職種の意見が聞けてよかった、別の考え方、視点があった。
- ・症例内容が良かった、考えさせられる内容だった。
- ・在宅での様子を知ることが出来てよかった。

緩和ケアの申し込みお問い合わせは  
お近くの緩和ケアリンクナースかがん診療支援室（内線：2710）

